



巡るたび、
出会う旅。
東北
東北デスティネーションキャンペーン
2021.4.1～9.30

2021年2月15日
東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社

津軽線の魅力発信！ 新作「津軽づくし弁当」の販売開始とガニ線カードを配布します！

JR東日本盛岡支社では、2021年4月1日からスタートする「東北デスティネーションキャンペーン」に合わせ、津軽線の魅力を多くの皆さまに知っていただけるよう、「津軽づくし弁当」を発売いたします。また、青森駅でのイベントに合わせて「ガニ線カード」を配布いたします。
この機会に、津軽線の魅力に触れてみませんか。

1. 駅弁の発売

津軽半島の魅力を身近に感じ、知っていただきたいという思いを込めて、津軽半島の食材をたっぷり詰め込みました。

(1) 商品名

「津軽づくし弁当」

(2) お品書き

青森トラウトサーモン※をはじめ、自然熟成豚味噌炒め、紅ズワイガニ、いくら、青天の霹靂（米）、ホタテ照焼、東北ピクルス（長いも・ごぼう）、できるだし煮物等
※深浦で育てた鮭の稚魚が、今別や三厩の生け簀で大きく成長し、水揚げされます。

(3) 発売日・発売箇所

2021年3月6日（土）

新青森駅「ブナの森弁当売店」、青森駅「ぐるっと遊青森駅店」

※青森駅「ぐるっと遊青森駅店」では3月21日までの発売となります。

(4) 発売価格

1,200円（税込）

(5) 製造会社

有限会社 幸福の寿し本舗（住所：青森県青森市油川字柳川 92-6）



掛け紙デザイン（イメージ）



津軽づくし弁当（イメージ）

2. 「ガニ線カード」の配布

ガニ線カード（全8種類）では、発案者である青森大学の学生、外ヶ浜町・今別町代表の地域の方、津軽線を担当するJR東日本の社員それぞれから寄せられた「津軽線への想い」をご紹介します。

また、3月6日（土）エキナカアート展示開始に合わせて配布いたしますので是非「ガニ線カード」を手に入れ、津軽線で旅する魅力を感じてみてください。

※「ガニ線」とは…沿線の方々から呼ばれる津軽線の愛称

配布期間…3月6日（土）10：15 ～ 3月31日（水）

配布場所…青森駅東口改札（3月27日以降は新駅舎改札）

※3月6日（土）10：15～11：15 は東口改札内のエキナカアート付近（階段付近）で配布します。

配布枚数…各 250 枚、計 2,000 枚

※なくなり次第配布終了となります。

【「ガニ線カード」表面・裏面（イメージ）】



（表面イメージ）



（裏面イメージ）

【「ガニ線カード」全8種類（イメージ）】



（JR 東日本乗務員）



（JR 東日本乗務員）



（JR 東日本乗務員）



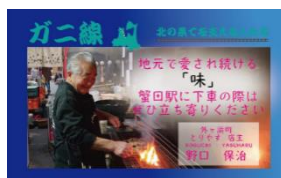
（JR 東日本社員）



（青森大学の学生）



（青森大学の学生）



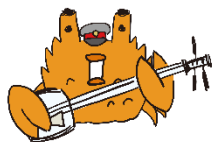
（外ヶ浜町代表）



（今別町代表）

3. 広告宣伝展開について

岩手県・青森県・宮城県・福島県・秋田県の東北エリアを中心とした駅に津軽線キャラクター 津軽蟹夫ファミリーを使用した PR ポスターを掲出します。



津軽蟹夫



津軽蟹味(妻)



津軽ミソラ(長女)



津軽クリゾー(長男)



ポスターイメージ

4. その他

JR 東日本盛岡支社では、青森大学及び津軽線沿線の青森県外ヶ浜町・今別町と連携し、津軽線沿線の魅力を発信する「JR 津軽線プロジェクト」を展開しています。

○『JR 津軽線プロジェクト』

(HP：<https://www.aomori-u.ac.jp/jr-tsugarusen-project/>)

《表面》

《裏面》



≪参考≫ ガニ線カードに「津軽線への想い」を寄せて下さった皆さまのご紹介

○青森大学の学生 ^{あいさかたくと}相坂匠飛さん・^{おさ ないたかゆき}小山内貴之さん

社会学部櫛引教授の指導・助言のもと、「JR 津軽線プロジェクト」において「ガニ線カード」の発案や津軽線を PR する動画の作成等に携わってこられた学生のおふたり。「ガニ線カード」は、津軽線沿線で活動するさまざまな人の姿を広く知らしめ、沿線の魅力を伝えたいとの思いから発案されました。

○外ヶ浜町代表 ^{のぐちやすはる}野口保治さん

蟹田駅前に店を構えるやきとり店「とりやす」の店主である野口保治さん。「とりやす」は以前から津軽線の乗務員に語り継がれている名店です。今日も地元にも愛されつづける「味」を守り続けています。

「とりやす」

定 休 日：毎週月曜・第2日曜・第4木曜

営業時間：10:30～18:30（ラストオーダー18:00）

電話番号：0174-22-2404

○今別町代表 ^{しまなかたくじ}嶋中卓爾さん

伝統芸能「荒馬まつり」で使用される馬を形とった衣装や資料を保存している「荒馬の里資料館」の館長である嶋中卓爾さん。「荒馬まつり」は例年8月上旬に今別町で開催されます。男女がペアで踊る「荒馬」の縁で結ばれたカップルが、毎年「ただいま」と大川平の地を訪ねてきます。

「荒馬の里資料館」（大川平荒馬保存会にて管理・運営）

開 館 日：4月1日～10月31日の毎日

※11月1日～3月31日は冬季閉館のため、開館希望の際は要連絡

開館時間：10:00～15:00

電話番号：0174-35-3012（今別町役場 企画財政課）